

障害のある子どものきょうだい支援プログラム「きょうだい・家族の思いと支援」冊子作成

さんだ子ども発達支援センター「かるがも園」
〒669-1356 兵庫県三田市井ノ草 808 番地

助成事業の概要

障害のある子どものきょうだいの心のケアを目的とした「きょうだい支援プログラム」の一環として、25年度は、6月に「障害のある子どものきょうだい支援」をテーマとして保護者を対象に活動報告や支援内容を紹介した。また6月・9月・10月には、きょうだいと保護者を対象にデイ・キャンプ等を開催し、親子二人だけの時間をもつことによって、きょうだいの心のケアに役立った。

当施設がこれまでに取り組んできたこれらの活動をもとにして、障害児のきょうだいの抱えている思いや、その支援方法について「きょうだい・家族の思いと支援」としてまとめ、本を作製した。

「きょうだい・家族の思いと支援」～特別な支援の必要な子どもの家庭のために～

- 第一部 特別な支援の必要な子どもの家族の思い
- 第二部 きょうだいへの支援
- 第三部 きょうだいのためのプログラム
- 第四部 保護者のみなさまより

事業の成果

当施設は、障害のある子どものきょうだいの心のケアを目的とした「きょうだいのためのプログラム」を平成12年から実施し、保護者研修会、懇談会、保護者ときょうだい自然の中で仲良く過ごすデイ・キャンプなどのプログラムを毎年行っている。デイ・キャンプには、これまでに延べ800人近い親子が参加しており、保護者の意識や

関わり方の変化で、きょうだいの問題は大きく改善されると考えている。

障害児のきょうだい支援は、当事者であるきょうだいがまだ幼く、その思いを語るができないために見過ごされがちな問題である。この本の制作と配布によって、こうした問題に家族や療育関係者が気づき、幼いきょうだいがつらい思いを抱くことがないように早期からの適切な関わりや支援がなされることができると考えている。さらに、きょうだいの健全な心の成長は他の家族にも良い影響をもたらすことがある。きょうだいの支援が広がることは、障害のある子どもの幸せな家庭づくりを広げるために役立つと考えられる。

成果の広報、公表

関係者および関係機関などに広く本を配布する。また、当施設のホームページや機関誌にも掲載を準備しており、希望者に対してには本の配布を行っていききたい。

今後の展開

家族やきょうだいの支援には関係者の役割も欠かせないが、このようなきょうだい支援活動を行う機関はまだ少ないのが現状である。この活動を全国に向けて発信することで、「きょうだい支援プログラム」のモデルを提示し、多くの関係機関が早期から、きょうだい支援に取り組むことを促していきたい。

また今後は、実際にきょうだい支援を行おうとす

る療育機関や関係者の参考となるよう、きょうだいのためのプログラムの具体的な支援方法をまとめた冊子を作成し配布したいと考えている。当施設で行ってきたデイ・キャンプのプログラム内容についても具体的に紹介し、実践の場で役立ててもらえるようにしていきたい。